

HTEC

TIMES

Honda Technical College kansai

学校法人ホンダ学園 ホンダ テクニカル カレッジ 関西

〒589-0012 大阪府大阪狭山市東くみの木2丁目1937番地の1
TEL:072-366-9011 FAX:072-360-2230

発行責任者
校長 村上 洋

ホームページ・ケータイ サイト
http://www.hondacollege.ac.jp/honda_w/

QRコード対応
ケータイで
簡単アクセス!



2007 特別講話

本校では年に二度、本田技研工業(株)よりトップをお招きし、講演をしていただいています。今年度は、11月22日(木)に本田技研工業(株)専務取締役であり、(株)本田技術研究所代表取締役社長として本校の理事長でもある加藤正彰さんにお話ししていただきました。



本田技研工業(株)専務取締役
(株)本田技術研究所 代表取締役社長
ホンダ学園 理事長
加藤 正彰さん



H-TEC理事長がトップトークでHondaを語る!

Hondaの原点

Hondaは、一輪・四輪・汎用合わせて全世界で年間2000万台以上販売する企業になりましたが、ここまで大きくなった理由は技術力だけではありません。創始者本田宗一郎さんのモノの見方、考え方が素晴らしいからです。みなさんもご存知の3つの喜び(創って喜ぶ、売って喜ぶ、買って喜ぶ)や、個人を尊重するなど、Hondaに関わるすべての人に喜びを与えたいという考え方こそ、Hondaをここまで大きくした原点だと考えています。

環境への取り組み

現在、地球温暖化や資源枯渇などのさまざまな環境問題は、国や地域を越えて世界的な対応が課題となっています。Hondaは、この環境問題への対応を企業全体のテーマとして積極的に取り組んでいます。取り組みの具体的な例の一つをあげると、みなさんご存知のFCX(燃料電池車)の開発です。これは水素と酸素を燃料に、燃料電池が発電した電気でモーターを回して走ります。二酸化炭素



一級自動車整備研究科 4年
藤本 雅裕

私はHondaの理念の中にあるチャレンジ精神というものがとても重要だと思っています。なぜなら、

人は挑戦し、考え、迷い、解決していくことで成長していくものだと思うからです。挑戦しなければ、得られる知識や経験はゼロです。しかし、挑戦すれば、達成、未達成に関わらず知識や経験が自分の中に蓄積されます。さらに、達成できたのなら何が良かったのか、未達成なら何がいかなかったのかをしっかりと考えれば、より一層自分の力にすることができます。これからの考えを持ち続け、夢、目標の達成のために努力を続けていこうと思います。

みなさんに期待すること

みなさんには、ただ技術を学ぶだけではなく、世のため人のために技術があるという考えを理解し、本校の建学の精神でもある「人に愛され、信頼される技術者」になつていただきたい。そして、小さな夢でも大きな夢でも目標を強く持つて、何ごとにも精一杯チャレンジしてもらいたいですね。(要約)



学生たちから多数の質問がありました

自動車研究開発科2年生 F-SAE代表マシンはチーム「Honda 零 Project」に決定!



自動車研究開発科2年生のチーム「Integration XI(以下XI)」とチーム「Honda 零 Project(以下零)」は、FSAE学生フォーミュラアメリカ大会

出場マシンを賭けた代表選考会を開催しました。この選考会は2回に分けて行われました。1回目の選考会は、開発、製造関係の企業の方が来校され、校内で静的審査3項目(コスト、プレゼンテーション、設計、場所を界カートのランドに移して動的審査3項目(オートクロス、エンデュランス、燃費)を行いました。観戦された企業の方々、学生たちの真剣に取り組み姿勢を高く評価されました。

●F-SAE代表マシン選考会 スコア

審査項目	Integration XI	Honda 零 Project
デザイン	89.7	109.0
コスト	68.7	68.2
プレゼンテーション	28.3	32.5
アクセラレーション	75.0	70.5
スキッドパッド	46.9	50.0
オートクロス	137.5	150.0
エンデュランス	321.6	350.0
燃費	22.2	50.0
合計	789.9	880.2

2ヶ所で行われた代表選考会ですが、結果は、チーム「零」がチーム「XI」を下し、FSAE出場マシンの座を勝ち取りました。



1年生 鈴鹿安全運転講習 「危険と安全」を学ぶ



憧れの鈴鹿サーキットレーシングコースを走行

11月26日(月)から5日間、鈴鹿サーキット交通安全教育センターで、自動車整備科、一級自動車整備研究科の1年生を対象に安全運転講習を開催しました。この講習の目的は、危険を安全に学び、安全運転の基礎的な技術や知識を養うことです。

学生たちは、濡れた路面や鈴鹿サーキットレーシングコースなどを走行して、四輪や二輪の危険回避テクニック、安全に対する姿勢やマナーを学びました。また、学生たちは、お客様に安全運転の指導ができる資格「ホンダ・セーフティコーデイネーター」取得を目指し、とても熱心に受講していました。



バイクのスラローム

1年生 企業セミナー 全国から60社以上の企業が参加



就職希望企業だけに、熱心にメモを取り質問します

12月7日(金)、本校でホンダ学園賛助会企業セミナーを開催しました。この企業セミナーは、全国から60社以上の企業の方々が集まる「大イベント」で、会社説明や「求める人物像」などを個別の面談形式で説明してくれました。また、今年からは自動車研究開発科2年生(1期生)の就職



就職活動に真剣に取り組む学生たち

活動スタートに合わせて、日信工業(株)や(株)ケーヒンなどの開発・製造関係の企業の方々にもご参加いただきました。企業セミナーに参加した学生は熱心にメモを取ったり、質問をして受検企業の研究をしていました。まだまだ厳しい就職戦線ですが、勝ち抜くために頑張らなう!